

世界中の子どもたちに安心と希望を

♪ アフリカからワトトの子どもたちが 今年も岡山にやってきました ♪

ウガンダでは、内戦やエイズで両親を亡くした子どもなどが、ワトト村での家庭的な環境のなかで傷付いた心と体を回復し、夢と希望をもって成長しています。

10月に、ワトトの子どもたちが岡山に来て、ダンスと歌でメッセージを伝えるコンサートを開催。感動の輪を広げました。真備中・平島小など10校の小中学校とも交流。コンサートには日本側の生徒も参加して盛り上がりました。今年で4回目。第2回まで、横田えつこさんが全力投球をされました。



・こんなスポット・きらめき広場・哲西（新見市）

旧町時代に、中学生以上の全住民を対象にアンケートを行い、要望の高かった診療所を軸に整備された複合施設で、道の駅に隣接しています。現在は、哲西支所、保健福祉センター、認定こども園、図書館、文化ホール等があります。運行のバス全便を経由させ、旧町全体の生活を支えるワンストップサービスの拠点。設計図作りは住民参加のワークショップを約60回行い、その後も住民自治を目指しているのが素晴らしいです。



診療所は24時間365日体制。「かかりつけ医」としてあらゆる科の一次医療を担います。信頼と感謝でつながる診療所が見えてきました。

診療所は24時間365日体制。「かかりつけ医」としてあらゆる科の一次医療を担います。信頼と感謝でつながる診療所が見えてきました。

編集後記 ★小さな手作り料理から。▽「ところてん」／「竹枝夏祭り」で天草の販売があり、思わずゲット。子どもの頃を思い出して作ってみました。▽「ジーマーミ豆腐」／沖縄料理でピーナツ豆腐のことです。里山農場から生ピーナツが届き、思い立って作りました。★どちらとも最高に美味しく大好評でした。



のぞみ日誌から

たんぼぼの会で犬島一泊研修 (8.12～13)

子どもたちと犬島で夏を満喫。たんぼぼの会（支援が必要な子と親の会）の企画です。ピザを焼いたり、天体観測をしたり、盛りだくさんのスケジュール。45年ぶりの釣りで、私はキスをゲット。子どもたちがたくさん話しかけてくれて、嬉しい時間でした。



全国消防救助技術大会 (8.25)

全国9地区の予選を突破した消防職員が救助技術を競います。岡山での全国大会ははじめてです。種目がスタートし、機敏な動作とその速さに目を奪われました。災害時に向けて、日頃からの地道なご努力に感謝します。



「認定 NPO 法人子どもシェルターモモ」 10周年企画 (9.14)

子どもシェルターモモは、困難を抱える子どもたちのためのセーフティーネットです。素晴らしい活動を10年間ありがとうございました。写真は基調講演講師の坪井節子さん(社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長、弁護士)と。テーマは「子どもの最善の権利を考える」。素晴らしい方で、大ファンになりました。



御津獅子舞シンポジウム (9.22)

7つの御津地域の保存会が集まり、会場には建部地域の方もおられました。獅子の動かし方、舞の流れ、獅子舞の意味など、はじめて知ることが多くて面白かったです。核家族化が進むなかで、地域でつながり合う場として、獅子舞の現代的な意味も感じました。



津島小学校1年生と「昔遊びの会」(10.4)

津島小学校1年生には、けん玉、竹とんぼ、お手玉などの昔遊びを、地域の「名人」の皆さんと一緒にする時間があります。子どもたちはとても楽しみにしていました。私は、名人ではありませんが、「あやとり」の担当でした。なかなか難しい(苦笑)。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.50

2019年9月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2019年10月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



若者の声に答えて「STOP 地球温暖化」 ～自治体（岡山市）から気候変動対策への行動を～

巨大な台風19号は東日本の広範囲に甚大な被害をもたらしました。日本における一日の降雨量記録を更新(922.5ミリ)。河川の決壊は7県71河川130カ所に上りました(10.20現在)。新見豪雨、台風15号、19号で被災された皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。



激しさを増す異常気象に危機感

防災対応は、治水などのハード、高齢者避難などのソフト両面から必要ですが、更に豪雨や猛暑という気候変動に真剣に取り組むべきです。

温暖化による台風の巨大化には、警鐘が鳴らされてきました。また海の生態系が乱れ、今世紀末までに漁獲可能な魚の量が最大24%減少するという指摘もあります。

地球温暖化対策を話し合う国連気候行動サミット(9.23)を巡り、日本を含む185カ国の若者が、温室効果ガス削減を各国政府に求めて「グローバル気候マーチ」を展開しまし



9.20には岡山市内でも若者たちを中心に元気よく「グローバル気候マーチ」。私も短時間ですが参加をしました。

た(9.20)。若者の未来を大人が脅かしているという訴えに私たちは向き合う時です。

* * *

公共交通の推進は、高齢社会への対応だけでなく温暖化防止にもつながります。再生可能エネルギーや省エネの導入、ゴミ焼却量の減など、私たちにはできうる限りの取り組み

が必要です。国連の求めに応じて、2050年までに温室効果ガス排出を実質0にする目標を掲げた国は77カ国になりましたが、日本政府は後ろ向きです。自治体（岡山市）からの取り組みと発信をしていきましょう。

おにき・のぞみ

9月議会 個人質問から

質問項目

1. イノシシなど鳥獣被害対策
2. 子ども・子育て支援、相談窓口の充実・連携
 - (1)産後の子ども・子育て支援
 - (2)放課後児童クラブ
 - (3)相談窓口の充実・連携
3. 移動と交通
 - (1)バス高齢者補助制度
 - (2)高齢社会と交通
4. 岡山北斎場



2019年9月議会。☆防災と並んで質問が多かったのは、地域公共交通の充実についてです。高齢社会において整備が急がれますが、議案としては、路面電車の駅前乗入れにあたって市議会の意見を聞く諮問が出されました。☆来年度から岡山市による新たな運営体制への転換を図る放課後児童クラブの条例案が提案され、間近には10月からの就学前教育・保育無償化が迫り、子ども・子育てにまつわる討議も多かったです。

1. イノシシなど鳥獣被害対策

市街地への出没。対応や窓口について効果的な情報提供を

私の周りでは、夏の終わり頃から、イノシシや小動物の出没や農作物への被害の声が届いています。

Q:今年度行っている被害対策に向けた実態調査と対策検討の状況はどうか。

A:専門業者が小学校区単位でアンケート調査を実施し、現在、その集計を行っている。これからヒアリング調査などを行い、今年度末までに、今後の参考となる提案をしたい。

Q:出没や被害にあったとき、どうすればいいのか、どこに連絡をしたらいいのか分からないという声はまだ多いが。

A:有害鳥獣の出ない環境整備が大切。

「鳥獣害対策の手引き」を作成し、出前講座をしている。地域からの相談があれば実施隊が赴いて助言等もする。窓口等、効果的な情報提供に努めたい。

▼イノシシにまつわる連絡先
各区役所農林水産振興課、各支所



2. 子ども・子育て支援、相談窓口の充実・連携

放課後児童クラブ支援員の処遇改善で、支援員確保と質の担保を

放課後児童クラブの運営は、地域の方々による運営委員会が担ってきましたが、市は来年度から3年間かけて市直轄体制へ移行。統一ルールでの運営をします。

Q:86運営委員会のうち、来年度からの移行が内定しているのは19。今回、移行を見送ったクラブの大きな理由の一つに、支援員の処遇がある。市の提案は1日6時間週30時間勤務であるが、利用時間が長い長期休暇になると、これではシフトを組めないという声が多い。支援員の確保の責任は雇用主だが、どうするのか。

A:支援員等の確保は、市とふれあい公社（委託予定）が、様々な機会を活用して幅広く確保したい。各クラブにも地域への情報提供等の協力をお願いしたい。大学にも学生アルバイトの依頼をする。

Q:本当に可能なのか。4月の移行時点での職員確保は各クラブが行うことに。

Q:主任支援員の任務について。厚生労働省が示している運営指針では、育成支援の目標や計画の作成を求めている。国が児童クラブに求める水準はこれから更に高くなる。先々を見据えても、週40

時間勤務の主任支援員が必要だと考えるが。

A:質の高い活動を目指して今はそれぞれ各クラブが活動をしている。まず平準化をして一元運営をしながら、計画作成については今後の課題として検討したい。40時間勤務については、移行後、運用するなかで慎重に検討したい。

岡山市には早急に見直してほしい。

複合課題（高齢、障がい、子育て等）のワンストップ対応に期待大

市は、2018年4月から相談支援包括化推進員を2名置いて、関係機関からの連絡で、8050問題など複数の困難を抱える人に寄り添い、世帯にとって最適なサービスを提供する事業を始めました。視察にいった長崎市では市民にも相談窓口を設けていましたが、岡山市は必要な関係機関を招集してケース検討会を行う後方支援のみです。

Q:関係機関への周知をしっかりとしてほしい。市民には、わかりやすい相談窓口紹介パンフレットを作成して周知を。

A:関係機関への周知はしていねいに行っている。パンフレットは検討したい。



長崎多機関型地域包括支援センターの視察。長崎市の複合課題への対応が親切だったとお聞きしうかがいました。

9月議会から

放課後児童クラブの条例案へ修正提案が

来年春から岡山市への移行がはじまる放課後児童クラブの条例案が提案されました。岡山市（案）は、保護者負担金7,500円、おやつ代2,000円、延長料金2,500円。現状より平均で年5,193円あがります。開所時間や日数が増えるクラブもあるでしょうが、負担増で移行を見合わせているクラブもあります。共産党から保護者負担金を増やさない条例修正案が提案

3. 移動と交通

高齢社会。使いやすい地域公共交通&バス料金高齢者割引を

市は今、路線バス網の改変も含めた公共交通の維持・改善にむけて、地域交通網形成計画を策定中です。この計画を検討している協議会（8.19）で、市長が、高齢者と障がい者へのバス代補助・割引について言及しました。

Q:バス高齢者補助制度の検討スケジュール等を聞かせてほしい。

市長:人口減少・高齢社会を見据えた場合、交通弱者を対象にした料金割引を考えねばならない。そして、この割引によって利用者増・事業者の収入増になり、経営の安定化と公共交通のネットワークの維持・改善につながるものとする。

この割引の効果を高めるため、周辺部の路線の維持・充実を図る必要がある。路線再編と合わせてとりくむことが必要。計画づくりを全力で取り組みたい。

高齢者と障がい者への割引を先行してほしい。

Q:市長も参加し、6月に答申が出された「地域交通フォローアップ・イノベーション検討会」で、市長がとくに力をいれた点は。

市長:①公共交通網維持に向けての自治体の関与。②独禁法は複数の事業者が協議することを排除しているが、路線バスについては同じテーブルでの議論を認め

されたので賛成をしましたが否決されました。課題はありますが、岡山市立放課後児童クラブを作ることに同意しました。

「学校図書館・市立図書館の充実を進める」陳情が全会一致で可決

来年度から国が進める会計年度任用職員制度に非正規職員が移行します。嘱託の図書館司書も対象です。

陳情内容は、「会計年度任用職員制度の導入で市民サービスが後退することがないよう、一

てほしい。③再編計画実施には事業者の同意が必要だが、同意が困難な場合は、自治体が責任をもって実施する新しい制度の創設をしてほしい。④高齢者等々の割引については、国の福祉予算から充当することが考えられるのではないかと。

次期通常国会に向けて法制度の見直しが進められるとのこと。注視します。



大塚愛県議といっしょに「みんなの自治講座—どうする？移動と交通」をもち、学びと意見交換を行った（2019.7.28）

4. 新斎場（岡山北斎場）

気になる火葬炉の安全性（環境面）

Q:富吉に建設予定の岡山北斎場の工程が遅れているが、その理由は？

A:8月上旬に事業者（共同事業者）から環境面に配慮した火葬機能向上の提案があり、その基本設計をしているため遅れている。

Q:地域の皆さんへの説明会はいつ頃になるのか。

A:基本設計と環境シミュレーションは10月末の完了を目途に進めている。完了後、地域の皆さまに内容をお示しする。



層の体制と機能の充実を進めてください。また導入にあたっては、市民と現場の声を十分に聴いて、ご審議くださいますようお願いいたします。

6月議会では継続審査となっていました。よかったです。仕事内容からすると、正規職員としての配置が望まれます。